

# 第60回実習教員部定期大会 6/26 開催！

今年度も感染症対策のためハイブリッド開催  
 参加者29名 会場出席者18名 オンライン参加者11名  
 (工業3名、農業3名、理科23名)

## 【議長】

江崎 奈緒美 先生

(木曽青峰分会)

倉島 美佐 先生

(茅野分会)



## 【記録】

綿貫 京子 先生

(中野立志館分会)

黒澤 瑞穂 先生

(丸子修学館分会)

☆☆先生方、ありがとうございました！☆☆

## 今年の討議の柱は・・・

- ① コロナ禍が及ぼす様々な影響について
- ② 賃金・生活・権利 (昇任基準改善、認定講習の充実)
- ③ 身分確立・職務の明確化 (呼称、昇任制度の周知)
- ④ 人事 (採用、講師解消、人事異動)
- ⑤ 教育条件整備 (需用費、被服貸与、薬品・放射性物質、妊娠中の業務軽減、BYOD) など

## ★部長あいさつ 片桐 和俊先生 (下伊那農業分会)



今年は、ハイブリッドでの開催となりました。本当ならば顔を合わせての開催にしたいがまだコロナ禍は終わらないので今年もハイブリッドでの開催となりました。

生徒ファーストの実験・実習をするのが私たちの職務である。実習教員だから教えられること、伝えられることがある。生徒たちは1人1台端末を持っていて便利ではあるけれど、パソコンや機械ではできないことを教えていきたい。生徒にとってより良い実験・実習のためにも、現場で頑張っている人の声を丁寧に聞き、声を力にしていきたいと思います。

## ★本部役員あいさつ 上條 晋副執行委員長



C4thを使った客観的な勤務時間の把握については、高教組の申し入れで6月実施を1ヶ月先送りしていたが、さらに4ヶ月先送りして、11月実施にすると6/21に通知が出た。現場の実態を把握しないまま導入を急いだ県教委の失敗だろう。この間に、システム改修をするというので、改善要求を県教委にあげることが大切。6/22に参議院選挙が公示された。選挙とは、私たちの納めた大切な税金の使い道を決める人を選ぶこと。主権者教育を行うとともに、我々自身の選挙権も積極的に行行使して、要求実現をめざそう。

### <昇任基準の改善>

- ・実習教員の2級昇任基準の改善について、県の回答は「困難である」ばかり。最短でも36歳まで昇任できないのでなかなか担任も持てず、分掌も困るのではないかな。昇任できないことで離職者がでてくるのではないかな。
- ・昇任要件の年齢にかかわる条件を撤廃したい。単位取得、経験年数を満たしているのに42歳という年齢の条件のために昇任できない。知識と技能、経験年数を要件としているのになぜ42歳の条件があるのか。
- ・理科の教員免許を持っている人が、みんなで年齢条件の撤廃を要求していった方がいい。
  - ⇒ 昇任基準の見直しについては、あの時はこれ以上は無理と判断して受け入れた。ただし、現場の声を聞いていただくことを前提に交渉を再開した。該当者の意見をまとめて県へ届けていきたい。また、なぜできないのかを聞きたい。
  - ・免許所有者の昇任基準の改善を要求したい。

### <職務の明確化>

- ・探究活動や観点別評価が始まった。レポート提出で観点別評価がされるようになり、全員のレポート提出のため放課後の追実験が増えている。
- ・全員が受け持つからという理由で、理科の実習教員も総合的な探究を持たなければならない。そもそも実習教員は単独で授業が持てないのに、持たされる。評価もできないのにどうすれば良いのか。他校はどうしているのか。
- ・探究の授業はそもそも持てない。たとえ持って指導したとしても、評価は他の先生の名前で出るのであればやりたくない。
- ・理科の教員が農業の免許を持っているので農業の授業をやっているが、定数がないので教諭だけで実験等をすべてやるのは負担が大きい。理科の実験が少ないので手伝っているが、それは本来の仕事ではない。そもそも農業の実験実習をやっているのか。
- ・生徒支援の係(コーディネーターなど)を理科の実習教員が持つことが増えているのではないかな。教諭ならば授業時間の軽減があるが、実習教員は持ち時間が見えにくいので持たされているのではないかな。時間のやりくりをして実験しているのに他の業務までやりくりしなければいけない。そのために実験を控えるのは本末転倒。専門家の配置をお願いしたい。
- ・専門的知識もないまま任されることが多い。本来の業務に支障を来すことになるので専門家を配置して欲しい。
- ・特別支援コーディネーターの係になっている人が多い。学校の状況で担わなければいけない。やらなければならないならばせめて研修をしっかりやって欲しい。
  - ⇒ 観点別評価について、状況把握していきたい。頑張からも声をあげてほしい。
  - ・特別支援は専門的知識を持った人を配置すべきと要求したい。

### <人事>

- ・総合学科における定数を確認してほしい。
- ・実習教員としてやっている常勤講師の採用を是非お願いしたい。
  - ⇒ 総合学科の定数については確認したい。総合技術高校など増えていく計画も示されているので。
  - ・講師経験者の採用を求めていく。

### <施設設備>

- ・教育設備の更新をなんとかしたい。昭和30年代、40年代の設備を使っている。なかなか更新できず困っている。古い設備や機械で実験・実習しても生徒は就職先で苦勞するのではないかな。
- ⇒ 施設設備の更新を強く求めていきたい。



## 第60回実習教員部定期大会 大会宣言

新型コロナウイルス感染症は、五輪明けから医療体制のひっ迫・崩壊の状況が結果として「第5波」となり、世界的なオミクロン株の急激な感染拡大により「第6波」は過去最大の感染者数が47都道府県すべてで更新されるなど、感染爆発の状況となりました。2022年2月から始まった、ロシア軍によるウクライナへの侵攻は、より深刻化・長期化の様相も呈しています。ウクライナ国民は国内避難民が1200万人、外国への難民が400万人にのぼっています。今回の侵攻は国際憲章に基づく平和の国際秩序そのものを根底から突き崩すもので決して容認することはできません。日本としても経済制裁や人道支援を強めることが緊急に求められています。

このような情勢のもと、本日、オンラインでの参加を併用しながら、第60回実習教員部定期大会をのべ30名の参加のもと開催しました。議論の中では、昇任要件のさらなる見直し、新しい学校生活様式、学習指導要領の改訂に伴う「観点別評価」の導入による実験・実習が、私達、実習教員の多忙化を更に助長している現状や、備品・設備が老朽化し生徒実習に影響していることが報告されました。

また総合学科の定数について、理科実習教員の先生が特別支援教育コーディネーターに従事されていることについて実態調査などを今後行うことも確認されました。

職員の勤務時間調査報告によると、2021年度は時間外勤務は平均で月40.8時間であり、長時間過密労働解消のために実効ある抜本的な施策が求められます。そして、この多忙化、長時間労働の現状を解消するどころか、拍車をかける新たな課題が次々に出されています。ICTのBYOD方式（タブレット）については、端末費用の家庭負担軽減を求め、公費による貸与は一定の前進とも言えますが、限定的なものであり2022年度以降の入学生は対象としないことから、積極的な施策を県に求めていくことが必要です。また、新たに第3期高校再編の公表、新しい学びの「指標」、新たな高等学校入学者選抜制度など、学校現場に大きな変化をもたらす課題が山積しています。

実習教員部においては、2015年度の交渉により新昇任制度が導入され、6年目を迎えました。理科・専門科における「昇任制度」（「教諭（実習担任）任用制度」）の運用面と課題について改善をめざすべく、組織全体で問題・意識共有をしていくことが大切です。実習教員が果たしてきた、そして果たしている大きな役割に誇りを持ち、引き続き私たちは本来の職務である、実験・実習の充実に尽力していきましょう。

私たちの要求は、制度改革をはじめとして、採用選考の継続と採用増、講師の積極的な採用、職場の民主化、キャンパス校問題、昇任制度の運用等、多岐にわたっています。私たちは、生徒を学校の主人公とし、どの子どもにもゆきとどいた実験・実習教育を保障するために取り組む必要があります。そのために、本大会で決定した運動方針に基づき、職務の明確化と身分の確立を求めます。

組合員の団結を強め、悲しい思いをしている仲間を守り、だれもが安心して働ける民主的な職場づくり・学校づくりに積極的に取り組んでいくことをここに宣言します。

2022年6月26日 長野県高等学校教職員組合実習教員部 第60回定期大会

### 団結ガンバロー！

片桐部長の掛け声とともに、会場参加者・オンライン参加者全員の「団結ガンバロー」で定期大会が締めくくられました。日頃抱えている悩みや疑問点を全員で共有し、今後の活動に勢いをつける定期大会となりました。参加された皆さん、お疲れさまでした！



※紙面の都合で画像を反転しています。



# アンケートに寄せられた感想・要望など

## ◆開会行事・日程について

- ・会場は松本がいいです。
- ・参加しやすい日程・会場だった。
- ・日曜日でよかったです。ハイブリッドお疲れ様でした。
- ・オンライン参加ができたので良かった。やらなくてはいけないことがあり、会場には行けなかったの。
- ・平日ならば混む市街地でもいいが、土日開催で混む地区は行きにくい。
- ・日曜開催で問題はない。個人的には土曜日がいい。
- ・日曜日なのは大丈夫なのですが、個人的に、今回は学校祭1週間前でしたので、少しずれると嬉しかったです。
- ・土曜日でも日曜日でもあまり変わらないが、このあたりで文化祭がある学校もあるので参加人数増は難しいかもしれない。

## ◆討議について

- ・昇任問題は、昇任が遅くなると分掌でどのような問題が出ているなど各校の実情を把握して訴えていくためにも、各校の実態を共有していく。ちなみに私は採用翌年に教務主任をやりました。
- ・採用と昇任については強く訴えていきたいと思いました。
- ・特別支援コーディネーターをやっています。本校の現状もお伝えできればと思います。
- ・総合的な学習の時間や観点別評価にどのように関わっているかも、特別支援コーディネーターとともにアンケートしても良いかと思いました。私自身は授業に協力はしていますが、中心となってやってはいないのでそんなことを言われる学校があるのだと驚きました。
- ・特別支援コーディネーターについて、本校の状況を話しても仕方ないと思って発言しませんでした。他の分掌同様に学校の中の分担任として割り切ってやろうと思っています。一番デリケートな話を保護者や担任としなければいけないのは正直荷が重いです。特別支援の会議で職名を書くこともあり、私でいいのかと思うこともあります。きっと教諭もやりたがらないから回してくるのしょうから、やはり専門の人を配置して欲しいです。
- ・オンライン参加の先生の発言は様子を見ながら発言できないので難しいと思いましたが発言しました。
- ・先輩方のご厚意で開催していた基礎講座が今年度、登内先生を講師にセンター開催になりました。しかし、今まで通りの研修会、授業見学や情報交換などが必要だと思います。初任者の離職率が高いのも相談するところがないからなのかと思っています。皆さんに研修についてお聞きしたいです。
- ・古い機器の廃棄を是非お願いしたい。50年前の顕微鏡が使っていないのに20台はあります。物理の機器も昭和30年代。統合を考えると恐ろしい。市にゴミとして出すには分別しなければならない。レンズや金属、ガラス等分別するだけで何時間かかるか。産業廃棄物として廃棄できるように毎年の予算をお願いしたい。

## ◆全体を通して

- ・部長の「声を力に・・・」はやはりそうだとあらためて思いました。
- ・できればオンラインの方も表情が見えた方がいいと思いました。
- ・もう少し参加者がいるといいなと思いました。
- ・理科の実担は再任用ハーフという働き方はできるのでしょうか。また実際にハーフで働いている方がいるのか知りたいです。
- ・本部の役員の皆様はじめ、参加された皆様、お疲れ様でした。
- ・オンラインで参加できて良かったです。本来ならカメラオンで参加しなければよかったと思いますが、どなたもオンではなかったもので・・・すみませんでした。
- ・会場へ行かずすみませんでした。何の制限もなくお会いできることを楽しみにしています。でも、オンラインだから参加しやすいというのがあります。

## ◆今後の活動で重点にした方が良くと思うこと

- ・特別支援コーディネーターについて
- ・仕事の明確化は管理職だけではなく一般の先生方にも周知し、問題点を共有していく必要を感じる。今の昇任基準の前と後での問題点など。
- ・教育設備の問題。古い備品や薬品の処分など生徒の活動に有効な形に整えていくことは大切だと感じました。
- ・2級昇任要件の在職年数について、高卒、短大卒、大卒の他に、「大学院修了」「社会人経験者」も加えるよう要求したいです。これからの教育界には多様な経歴を持つ社会人の応募や採用が増加すると考えられます。そのような変化に対応した制度として欲しいと思います。
- ・組合への加入比率が低迷している原因の一つに、組合費や活動そのものへの負担感の増大があると聞きます。それらの負担を限りなく小さくした「プチ組合員」のような制度を設けることで、組合員の増加を図るといいと思います。とにかく組合員数を増やすためには、タブーを設けずあらゆる手段を用いる必要があると思います。
- ・組合に入っていない実習教員に是非組合に入ってもらえるようにしたい。研究会や研修で個々に声がけしてもらいたい。
- ・白衣の3000円についてはやっとな動きが見てきたように思います。(今までは交渉でよさげな回答が得られても現場には降りてこず、事務にも理解を得られなかった)ただ、あくまで「見えてきただけ」なので引き続きよろしくをお願いします。

## ◆その他（どんなことでも）

- ・総合的探究の時間は各校によって違うことに驚きました。本校では1人では担当していません。必要があれば準備したり、相談に乗ったりします。
- ・良かったと思います。もう少しオンラインでも参加する人が増えて全体的に人数が増えるといいのですが・・・
- ・議長、かなり失敗しました。温かく見守っていただき、感謝しかありません。
- ・会場に行くべきですが、ハイブリッドは遠方の者にとってはありがたいです。
- ・祝電披露大変でしたね。そこは会場が良かったと思います。
- ・ZOOMの表示設定をホスト側で頻繁に変更するのをやめてほしい。自分側で表示設定をしていますが、ホスト側で変更すると強制的にリセットされてしまいます。共有画面の閲覧などで気を遣っていただいているのはわかりますので、できる範囲でお願いします。
- ・オンライン参加の方には最初からカメラをオンにするようお願いしてもいいかもしれません。